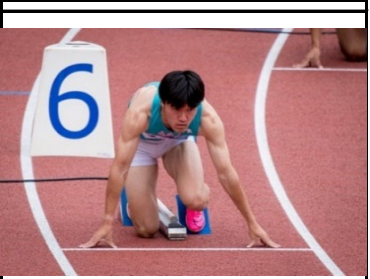


就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	よしかわ りょう	性別	生年月日・年齢
氏名	吉川 峻	男	2001年8月30日
競技名／種別・種目	陸上競技・400m	23	歳
出身地	千葉県市原市		
現住所	茨城県つくば市		
所属先	筑波大学 人間総合科学学術院人間総合科学研究群		
練習場所	筑波大学 陸上競技場		



【選手プロフィール】

■学歴・職歴

年	月	学歴・職歴
2020	3	千葉県立千葉東高等学校 卒業
2024	3	筑波大学 体育専門学群 卒業
2024	4	筑波大学 人間総合科学学術院人間総合科学研究群 入学
2026	3	筑波大学 人間総合科学学術院人間総合科学研究群 修了見込み

■免許・資格

普通自動車第一種運転免許

TOEIC Listening&Reading Test 815点

■国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦 績
2019	8	第27回 日・中・韓ジュニア交流競技会	400m 優勝
2025	3	2025年世界室内陸上競技選手権大会(中国/南京)	400m 出場

■国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦 績
2023	10	第107回 日本陸上競技選手権大会・リレー競技	4×400mリレー 優勝
2024	9	Yogibo Athletics Challenge Cup 2024 兼 WAコンチネンタルツアーブロンズ大会	400m 4位
2025	5	第40回静岡国際陸上競技大会 兼 WAコンチネンタルツアーブロンズ大会	400m 6位
2025	5	セイコーゴールデングラプリ陸上2025東京	400m 7位

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私の強みは「正解が見えない状況で最適解を探し出す力」である。

陸上競技の世界は「こうすれば強くなる」という明確な正解がない世界である。私はそんな不確実性の高い環境の中で、仮説を立て、実行し、内省を繰り返すことで成果を出してきた。大学時には4×400mリレーで日本一に挑戦した。当初は目標に対して、どのように取り組むべきか、手探りの状態であった。そこで、私は論文や過去の事例を参考に「確からしい」メニューを構築し、実践と検証を行なっていた。また、練習日誌を活用し、チーム全体で試行錯誤を積み重ねながら、メニューの改善に努めた。その結果、チームとして日本一を達成し、個人としても世界大会への出場を果たすことができた。この経験から得た、「正解の見えない状況で最適解を探し出す力」は、変化の激しいビジネスの現場でも活かせると確信している。この強みを活かし、正解がない状況に対しても粘り強く取り組み、目標達成に貢献していきたい。

さらに、私には「自身の可能性を信じ、高い目標に挑戦する人を増やしたい」というビジョンがある。このビジョンは、自身が怪我を繰り返す中で、人が持つ可能性の大きさに気付いた経験や、人の才能を妨げる環境、組織を目の当たりにし、悔しい想いをした経験から掲げている。こうした背景から、私は人・組織領域での仕事に強く惹かれている。また、私は競技とビジネスの両方を全力で取り組みたいと考えている。競技では、国際大会での活躍を目指し、ビジネスでは上述したビジョンの実現に邁進していきたいと思っている。そのため、競技とビジネスを両立が可能なキャリアを志望している。

【採用検討企業への情報】

就職希望条件

①職種・仕事内容	人事部での採用、育成、制度設計や事業企画に興味を持っておりますが、どのような仕事でも、全力で取り組んでまいります。
②勤務地	関東(特に首都圏希望)
③勤務日数・時間帯	週1-2日の終日出社と週3日の半日勤務を希望(遠征や試合日程にご配慮いただけますと、幸いです)